

日野原賞一次審査採点基準 2017 年度（H29 年度）用

以下の基準を参考に評価シートに採点を行ってください。

1. 研究目的は、プライマリ・ケアの視点から、意義深く、切実か？

研究目的やリサーチ・クエスチョンが、プライマリ・ケアの理念や目標と合致しているか、診療現場に切実な問題を取り扱っているか

「2点」：プライマリ・ケアの視点から、意義が高く、切実な問題を扱っている

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：プライマリ・ケアにとって全く重要でない

2. 研究デザインは明確か？

（量的研究）対象患者、要因/介入、比較対象、アウトカムは明確に定義されているか。

（質的研究）サンプリング法、サンプルサイズが明確に定義され、信憑性 credibility と外挿可能性 transferability について十分に考察されているか。

「2点」：すべて明確に定義されている。

「1点」：一部分だけにとどまる。

「0点」：全くできていない。

3. 研究方法は科学的か？

（量的研究）統計解析方法は明確にされており、適切に行われているか。

（質的研究）分析方法は適切で、確実性 dependability と確認可能性 confirmability について十分に考察されているか

「2点」：方法が適切であり、明確である。

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：方法に問題ありもしくは全く説明がない。

4. 研究目的と研究方法に乖離はないか？

研究を行うことで目的が達成され得る手法を用いているか。

「2点」：研究の目的を達成するために適切な研究方法である。

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：目的と方法に大きな乖離がある、もしくは全く目的、方法の説明がない。

5. 研究結果と結論に乖離はないか？

結論は研究の結果から得られた結果から大きく離れていないか。

「2点」：研究結果から導き出された妥当な結論である。

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：研究結果と目的に大きな乖離がある、もしくは全く結論の説明がない。

6. 一般口演としての総括評価（今回追加された項目です。）

日野原賞候補演題（7演題）に選考されなかった演題は一般口演・ポスターとしての適性を判断して記入してください。総括評価のみの記載でよいと大会事務局から要請されています。1演題3評価者ですので1演題あたり総括評価が3つですがそのまま事務局に返し、意見が分かれた場合の取り扱いは判断は事務局にまかせます。

基準：口演にふさわしい◎

口演、ポスターどちらでもよい○

不採択×

脚注：

外挿可能性・・・研究結果が他の個人、集団、文脈、状況に一般化可能か

信憑性・・・データと研究者の解釈の間に、意図的あるいは非意図的な食い違いがないか

確実性・・・研究を繰り返した場合に、同じような結果が得られる可能性があるかについて、研究が行われたプロセスを論理的かつ明快に、そして詳細に記述されていること

確認可能性・・・研究結果が研究者の個人的な価値観・興味・考え方などに影響を受けず、研究参加者自身の解釈をどれほど忠実に反映しているか